

イーストスプリング インド投資マンスリー

2021年5月号

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号

加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。

最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

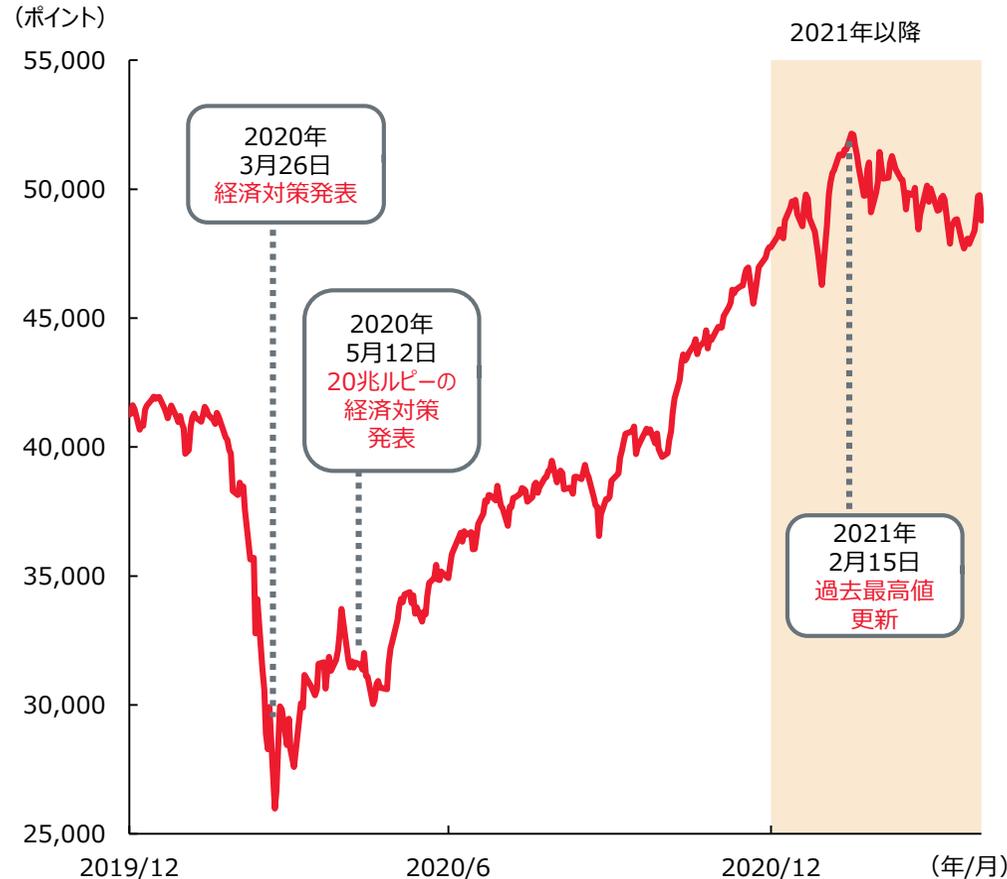
この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インド投資マンスリー動画配信中！



株式：値動きの荒い展開も、新型コロナウイルス感染再拡大により下落

SENSEX指数の推移 (日次、2019年12月末～2021年4月末)



2021年4月の振り返り

4月の株式市場は、新型コロナウイルスの新規感染者の急増と複数の州で実施されたロックダウン（都市封鎖）の影響により下落しました。2月の鉱工業生産指数の下落、3月のインフレ率上昇など弱い経済指標も投資家のセンチメントを圧迫しました。外国人投資家は新型コロナウイルスの新規感染者の急増、医療物資の不足、ロックダウンを理由に11億米ドル相当の株式を5か月ぶりに売却しました。一方、国内の機関投資家による株式購入額は15億米ドルとなり、外国人投資家からの資金流出をほぼ相殺しました。ワクチンに関する前向きなニュース（ロシア製ワクチン「スプートニクV」の承認、他ワクチンの迅速な承認、ワクチン接種対象を18歳超に拡大）や金融政策決定会合で緩和的措置の維持を決定したことは、市場に安心感をもたらしました。セクター別では、ヘルスケア、素材、コミュニケーション・サービスがアウトパフォームしました。

規模別指数の期間別騰落率 (2021年4月末時点)

	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	-1.5%	5.4%	23.1%
中型株 (BSE中型株指数)	0.6%	12.3%	36.3%
小型株 (BSE小型株指数)	4.9%	20.5%	45.6%

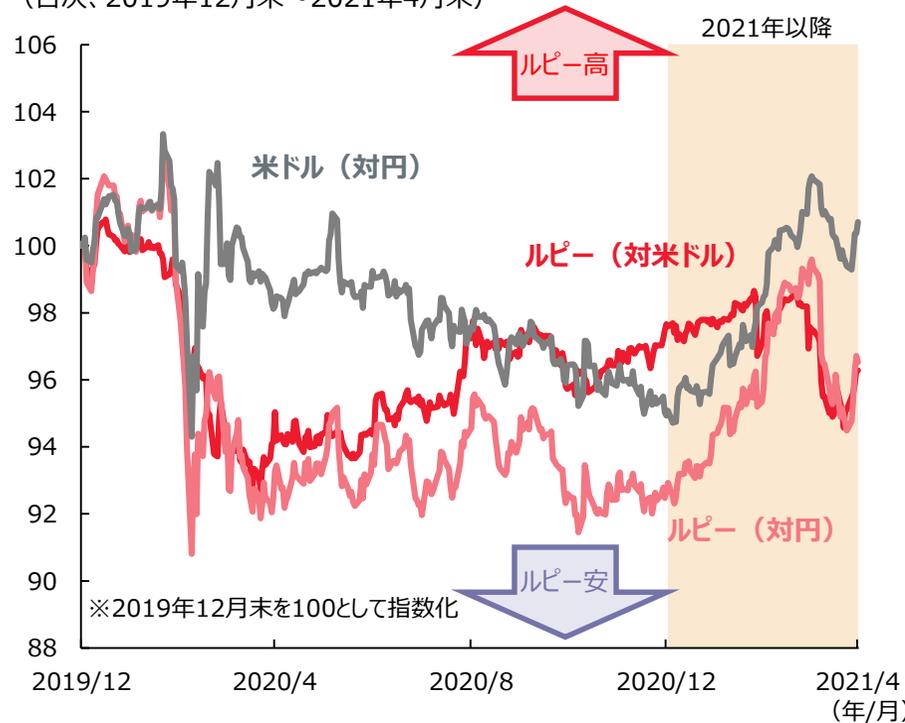
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※すべて配当無し（プライス）、インドルピーベース。

為替：インドルピーは対円、対米ドルともに下落

- 4月のインドルピーは対円で3.0%の下落、対米ドルでは1.3%の下落となりました。
- 月前半に対米ドルで約3%下落しましたが、これは新型コロナウイルス新規感染者数の急増とインド準備銀行による国債購入プログラムの発表により外国人投資家によるインドルピー売りが進んだことによるものです。インド準備銀行は、ルピーの下落を抑えるため、約6億米ドルのドル売り介入を実施しました。
- インド準備銀行は通貨の安定のため外貨準備高を積み増しており、過去最高水準まで増加しています。

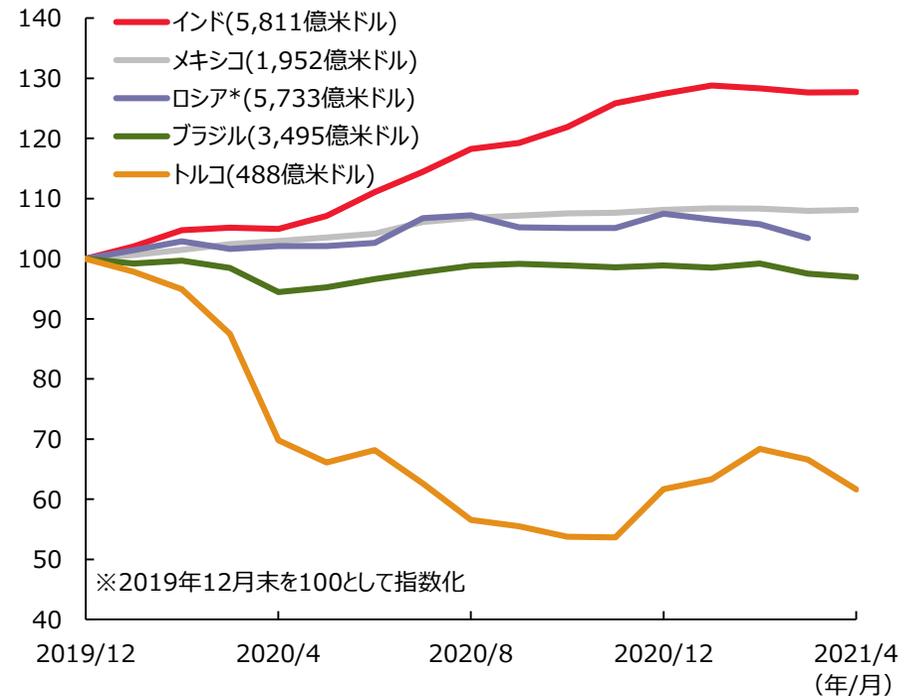
ルピーおよび米ドルの推移

(日次、2019年12月末～2021年4月末)



主要新興国の外貨準備高

(月次、米ドルベース、2019年12月～2021年4月*)

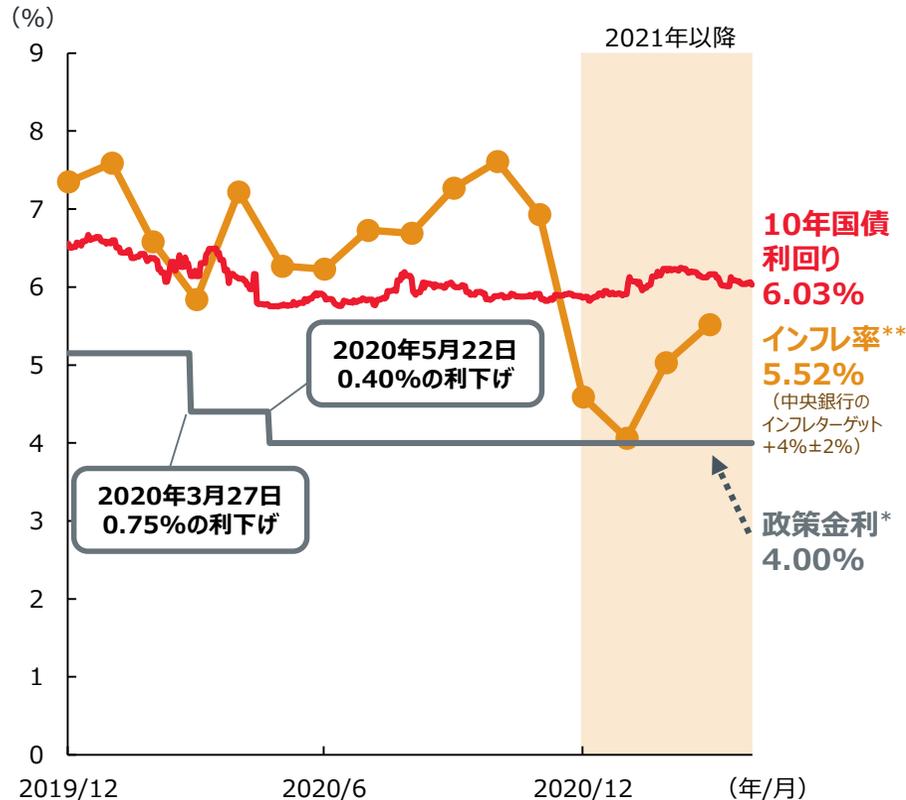


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*ロシアのデータは2021年3月まで。

債券：金融政策の維持、国債購入プログラムの発表により利回り低下

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(日次**、2019年12月末～2021年4月末)



2021年4月の振り返り

4月のインド10年国債利回りは低下し（価格は上昇）6.03%となりました。新型コロナウイルスの感染者急増により、インド準備銀行は金融政策決定会合で、市場の予想通り5会合連続で政策金利を過去最低の4.0%で据え置くことを決定しました。ダス総裁は、持続的な成長のために可能な限り緩和的な姿勢を続けると述べました。また、国債購入プログラム(G-SAP1.0)を発表しました。4-6月に1兆ルピー相当の国債購入計画を明らかにしたことを受けて、10年国債利回りは更に低下しました。また一方で、3月のインフレ率と原油価格の上昇を受けて、債券価格の更なる上昇は抑えられました。中央銀行がG-SAP1.0に基づく国債購入を実施した後も債券価格は下落しました。

債券利回りと利回り差の変化幅

	2021年 3月末	2021年 4月末	変化幅
10年国債利回り	6.17%	6.03%	-0.14%
10年社債利回り***	7.18%	6.78%	-0.40%
利回り差	1.01%	0.75%	-0.27%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レボ金利、**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。新基準（2012年=100）による統計を使用。2021年3月分まで。

***10年社債利回りはBloomberg FIMMDA India Corporate Bond Curve AAA Year Corporateの利回りを使用。

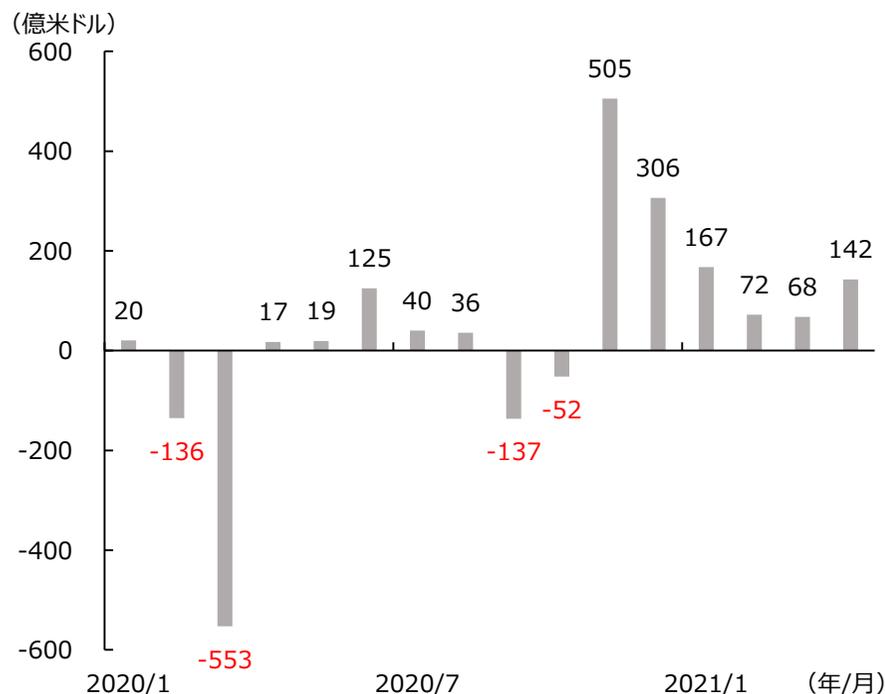
※10年国債は、2020年5月の途中で銘柄が変更されました。

新興国／インド株式市場の外国人投資家からの資金流入の推移

- 新興国株式市場は、世界的なリスクオフ局面で外国人投資家からの資金が大きく流出する場合があります。直近の新型コロナウイルスによる世界的な株安局面では単月として過去15年間で最大の553億米ドルが流出（2020年3月）しました。しかし2020年11月以降、資金流入が継続しています。
- インドの株式市場では、2020年4月以降は大半の月で外国人投資家からの資金は流入となっていました。2021年4月は流出に転じました。

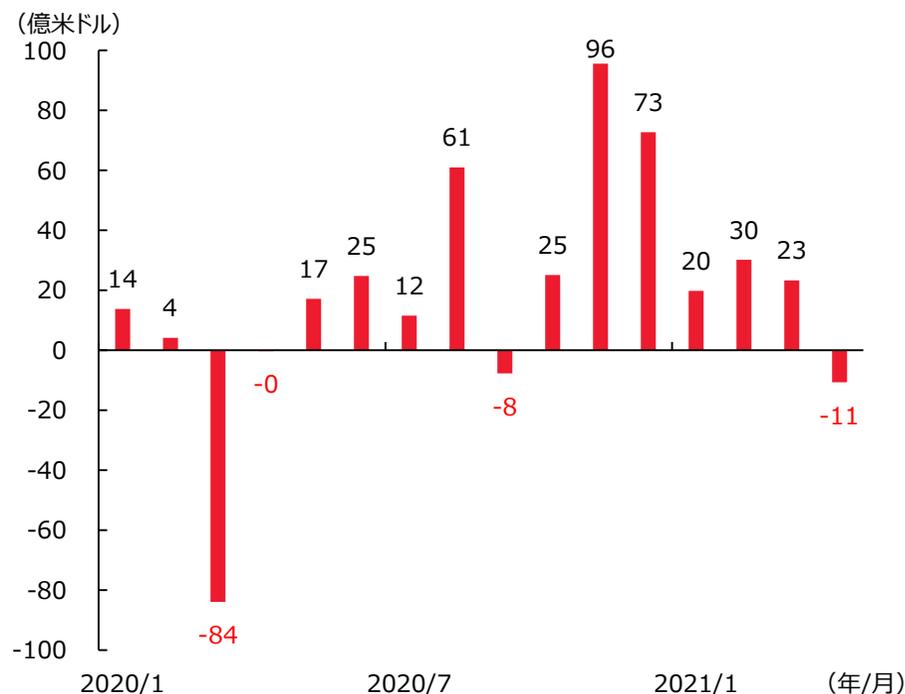
新興国株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移

（月次、2020年1月～2021年4月）



インドの株式市場への外国人投資家からの資金流入の推移

（月次、2020年1月～2021年4月）



出所：IIF（国際金融協会）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

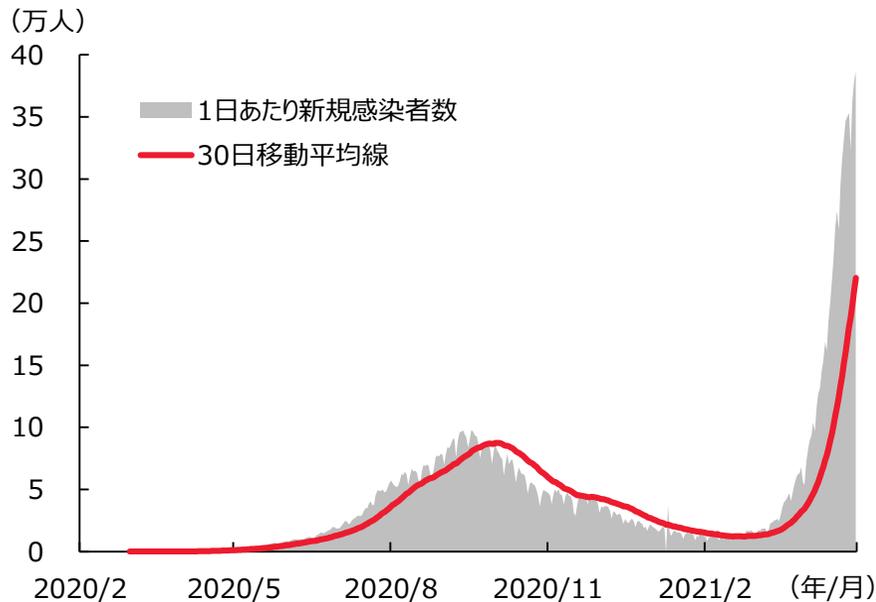
※2020年6月以降については同協会による推計値。

再拡大する新型コロナウイルス感染者数

- インド国内の1日あたり新規感染者数は、2021年3月以降再び上昇に転じており予断を許さない状況です。人口が13億人を超えるためワクチンの接種率は低位にとどまっていますが、累計接種回数は、米国、中国に次ぐ水準となっています。
- インド準備銀行は、新型コロナウイルスの第二波を受け5月5日に緊急会合を開き、個人や中小企業の融資返済の猶予、小規模銀行への支援、州政府・中央政府の財政支援など多数の措置を発表しました。
- 当社は、インド準備銀行がインフレ圧力、ワクチン接種の状況に留意しながら、景気回復に向け現在の緩和的な姿勢を維持すると考えています。

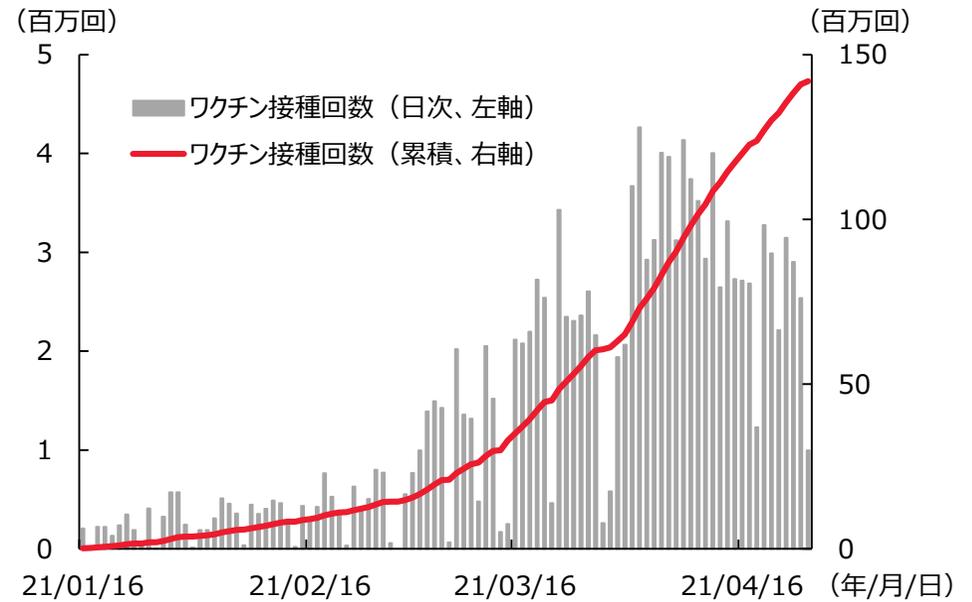
インドの新型コロナウイルス新規感染者数の推移

(日次、2020年2月1日～2021年4月30日)



インドのワクチン接種回数の推移

(2021年1月16日～2021年4月25日)



出所：CEIC、ICICIAMのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【ご参考】急成長するインドのソーシャルコマース企業 Meesho

5月号では、4月に弊社グループインド拠点との会話の中で話題になったスタートアップ企業Meeshoについてご紹介します。

ソーシャルコマース業界初のユニコーン誕生！

インドでは今年に入りユニコーン（企業価値が10億米ドルを突破する有望ベンチャー）の誕生が相次いでいます。

ソーシャルコマース*系スタートアップ企業のMeeshoも、ソフトバンクグループの投資ファンドから新たに3億米ドルの資金を調達。4月に業界初のユニコーン入りを果たしました。

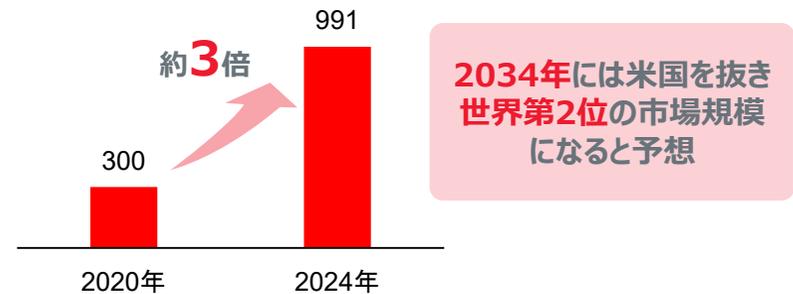
急成長するEコマース／ソーシャルコマース市場

近年、インドでは、中間所得者層が増加し、インターネットとスマートフォンの普及によって、Eコマース／ソーシャルコマースが急成長しています。2015年に設立のMeeshoはWhatsAppやFacebook、InstagramなどのSNSを通じて商品の再販売・売買を行う仕組みを構築。インド版メルカリとも言われています。

インドの小売市場は「キラナ」と呼ばれる伝統的な家族経営の零細商店が大部分を占めており、こうしたこれまでECに参加できなかった資金力の低い個人事業主にとっても、初期費用なしでオンラインビジネスが始められることから登録者数が急増しています。また、在宅でお金を稼ぐことが簡単になったことから、利用者の大半を女性が占めています。

ソーシャルコマースがインドのオンライン取引のキードライバーになることが期待されます。

インドのEコマース市場規模（予想、億米ドル）



オンラインショッピングを楽しむインド人女性（写真：Shutterstock）

*ソーシャルコマースとはソーシャルメディア（SNS）とEコマースを掛け合わせて商品の販売促進を行うビジネスモデル。
出所（右上グラフ）：IBEFのデータを基にイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会